

膵島 β 細胞の低形成が認められた糖尿病の 黒毛和種子牛の 1 症例

岩永海空也^{1)†} 田川知嘉²⁾ 寺本直輝¹⁾ 西郷智貴¹⁾
三上 修³⁾ 芝原友幸^{4),5)}



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/78/6/78_e78/_article/-char/ja

- 1) 福島県中央家畜保健衛生所 (〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字新屋敷 114-12)
- 2) 福島県農業共済組合いわせ石川家畜診療センター
(〒 963-6311 石川郡玉川村大字岩法寺字湯神前 11-1)
- 3) (国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門札幌研究拠点
(〒 062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘 4)
- 4) (国研)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門
(〒 305-0856 つくば市観音台 3-1-5)
- 5) 大阪公立大学大学院獣医学研究科 (〒 598-8531 泉佐野市りんくう往来北 1-58)

(2024 年 12 月 27 日受付・2025 年 3 月 24 日受理・2025 年 6 月 7 日公開)

要 約

49 日齢の黒毛和種子牛が元気消失、意識混濁、時折振戦などの神経症状を呈した。尿検査では糖尿及びケトン尿が認められた。血液検査で高血糖を示し、インスリン濃度は著しく低下 (0.05 ng/ml 未満) していた。病理組織学的検査では、核が類円形、淡明で少量の弱好酸性細胞質をもつ細胞が膵島を占めていた。アルデヒドフクシン染色で膵島に陽性顆粒は認められず、抗インスリン抗体を用いた免疫組織化学では一部の膵島で極少量のインスリン抗原が確認された。以上の結果から、本例は膵島 β 細胞の低形成による糖尿病と診断された。

——キーワード：子牛，糖尿病，膵島 β 細胞低形成。

----- 日獣会誌 78, e78～e82 (2025)